

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 31 日 (2017.8.31)

【公開番号】特開 2016-175983 (P2016-175983A)

【公開日】平成 28 年 10 月 6 日 (2016.10.6)

【年通号数】公開・登録公報 2016-058

【出願番号】特願 2015-56511 (P2015-56511)

【国際特許分類】

C 0 9 K 15/22 (2006.01)

C 1 1 B 11/00 (2006.01)

A 2 3 D 9/00 (2006.01)

A 2 3 L 3/3526 (2006.01)

A 2 3 L 3/3481 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 15/22

C 1 1 B 11/00

A 2 3 D 9/00

A 2 3 L 3/3526

A 2 3 L 3/3481

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 4 日 (2017.7.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スフィンゴイド塩基構造を有する化合物のアミノ基とカルボニル化合物のカルボニル基とが結合した構造を有するアミノカルボニル化合物を有効成分とする酸化抑制剤。

【請求項 2】

前記カルボニル化合物が、アルデヒド類、ケトン類、エステル類、脂肪酸類から選択される化合物である、請求項 1 に記載の酸化抑制剤。

【請求項 3】

前記カルボニル化合物が、プロパナール、プロペナール（アクロレイン）、2 - / 3 - ヘキセナール、2 - ペンテナール、2, 4, 7 - デカトリエナール、2 - ブテナール、2 - ブチルフラン、アセトアルデヒド、4, 5 - エポキシ - 2 - ヘプタナール、ブタナール、オクタン酸メチル、9 - オキシノナン酸メチル、3, 6 - ノナジエナール、2, 4 - ヘプタジエナール、ヘキサナール、2 - ヘプテナール、ヘプタナール、ノナナール、ペンタナール、オクタナールよりなる群から選択される化合物である、請求項 1 に記載の酸化抑制剤。

【請求項 4】

前記カルボニル化合物が、2 - プロパノン、2 - ブタノン、2 - ペンタノン、2 - ヘキサノン、2 - ヘプタノン、2 - オクタノン、2 - ノナノン、3 - オクテン - 2 - オンよりなる群から選択される化合物である、請求項 1 に記載の酸化抑制剤。

【請求項 5】

前記カルボニル化合物が、10 - オキシ - 8 - デセン酸メチル、ヘプタン酸メチル、10 - オキシデカン酸メチル、ノナン酸メチル、8 - オキシオクタン酸メチル、オクタン酸

メチル、9 - オキソノナン酸メチル、フランオクタン酸メチル、2, 4 - オクタジエン - 2 - オン、13 - オキソ - 9, 11 - トリデカンジエン酸メチル、ヘプタン酸、オクタン酸、ノナン酸よりなる群から選択される化合物である、請求項1に記載の酸化抑制剤。

【請求項6】

前記スフィンゴイド塩基構造を有する化合物が、ジヒドロスフィンゴシン、スフィンゴシン、N, N - ジメチルスフィンゴシン、フィトスフィンゴシン、4 - スフィンゲニン、8 - スフィンゲニン、4 - ヒドロキシ - 8 - スフィンゲニン、4, 8 - スフィンガジエニン、9 - メチル - 4, 8 - スフィンガジエニン、4, 8, 10 - スフィンガトリエニン及び9 - メチル - 4, 8, 10 - スフィンガトリエニンよりなる群から選択される化合物である、請求項1 ~ 請求項5のいずれかに記載の酸化抑制剤。

【請求項7】

請求項1 ~ 請求項6のいずれかに記載の酸化抑制剤を配合してなる油脂。

【請求項8】

前記酸化抑制剤の配合量が1 p p t 以上である、請求項7に記載の油脂。

【請求項9】

請求項7又は請求項8に記載の油脂を含有する飲食品。